

株主メモ（証券コード：2911）

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777（通話料無料）

公 告 方 法 電子公告

当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

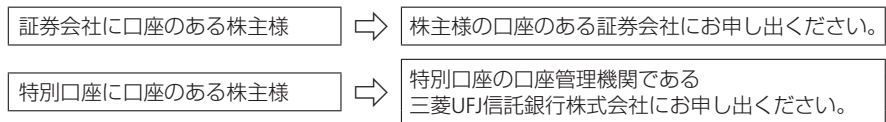
単 元 株 式 数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、即席みそ汁等、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出



2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化移行時点で「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）に預けられていない株主様の株式については、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第 65 期中間(第2四半期)報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日



旭松食品株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長 木下 博隆

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第65期中間（第2四半期）報告書（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融緩和を背景に円安・株高傾向が続き、国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら個人消費につきましては消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動や夏場の天候不順の影響など足踏み状態となっております。

食品業界では、依然として企業間競争は激しく、円安による原材料価格高騰への対応は充分には進まず、更にはフードディフェンスを含めた食の安心・安全への取り組み強化が求められております。

このような状況の中、当社グループは引き続き売上原価の高騰分を販売価格へ転嫁してまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は43億4千6百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、当社グループ独自の新たな製法による減塩タイプの凍豆腐を積極的に拡販してまいりました。この製法は重曹を用いた加工から、体内の余分な塩分の排出効果があるとされている炭酸カリウム加工に変更し、より健康に配慮したものとなっております。また、当社食品研究所が長年研究を行い発表した論文などを基に、余分なコレステロールを排出する効果があるレジスタントタンパクを多く含む食品として普及活動を行い、凍豆腐市場の維持拡大に努めてまいりました。更に本年9月1日より価格改定を実施し、原材料価格高騰分の転嫁を進めてまいりました。その結果、一時的に販売数量は減少し、売上高は17億3千万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。加工食品では、袋入りタイプ、カップ入りタイプともに新商品を継続的に発売してまいりましたが、低価格競争が激しく販売数量は減少し、売上高は18億7百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。その他の食料品では、医療用食材などが堅調に推移しておりますが、売上高は7億9千2百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

利益面では、円安などによる製造原価の上昇や販売数量の減少による限界利益額の低下、製造設備の取得とそれに伴う減価償却費の計上などもあり、営業損失2億8千1百万円（前年同四半期は1億2千2百万円の損失）、経常損失2億6千7百万円（前年同四半期は1億6百万円の損失）となりました。四半期純損失は特別損失に退職給付費用2億1百万円を計上したこともあり4億8千9百万円（前年同四半期は1億1千5百万円の損失）となりました。

中間(第2四半期)連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	※ご参考 前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,980,959	2,126,467
受取手形及び売掛金	2,129,811	1,780,660
たな卸資産	1,007,778	1,213,382
繰延税金資産	1,940	1,116
その他	114,951	100,461
貸倒引当金	△5,023	△4,666
流動資産合計	5,230,418	5,217,423
固定資産		
有形固定資産	3,372,448	3,541,385
無形固定資産	487,745	490,454
投資その他の資産	571,047	600,597
固定資産合計	4,431,241	4,632,436
資産合計	9,661,660	9,849,859
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,801	851,999
短期借入金	36,648	451,668
リース債務	6,377	5,148
未払金	923,087	433,931
未払法人税等	18,429	9,838
賞与引当金	34,275	32,889
設備関係支払手形	58,017	253,371
繰延税金負債	—	2,095
その他	130,306	144,813
流動負債合計	2,090,943	2,185,755
固定負債		
長期借入金	6,981	420,708
リース債務	14,700	12,302
繰延税金負債	168,610	184,782
退職給付に係る負債	494,142	652,628
資産除去債務	47,053	47,552
その他	14,100	8,100
固定負債合計	745,587	1,326,074
負債合計	2,836,530	3,511,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,449,567	2,932,519
自己株式	△127,577	△127,781
株主資本合計	6,572,258	6,055,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,437	175,055
繰延ヘッジ損益	—	3,823
為替換算調整勘定	91,379	73,132
退職給付に係る調整累計額	△24,394	△10,138
その他の包括利益累計額合計	209,422	241,873
少数株主持分	43,447	41,151
純資産合計	6,825,129	6,338,030
負債純資産合計	9,661,660	9,849,859

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間(第2四半期)連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	※ご参考 前第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	4,666,434	4,346,029
売上原価	3,651,085	3,483,003
売上総利益	1,015,348	863,025
販売費及び一般管理費	1,137,478	1,144,878
営業損失 (△)	△122,129	△281,852
営業外収益	17,055	16,755
営業外費用	1,866	2,717
経常損失 (△)	△106,940	△267,815
特別利益	2,621	—
特別損失	3,974	214,998
税金等調整前四半期純損失 (△)	△108,293	△482,813
法人税、住民税及び事業税	6,637	6,104
法人税等調整額	△671	931
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△114,259	△489,849
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	1,486	△268
四半期純損失 (△)	△115,746	△489,580

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間(第2四半期)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	※ご参考 前第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,569	△132,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,804	△515,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,932	797,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,113	△4,550
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△265,054	145,508
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,432	825,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	952,377	971,439

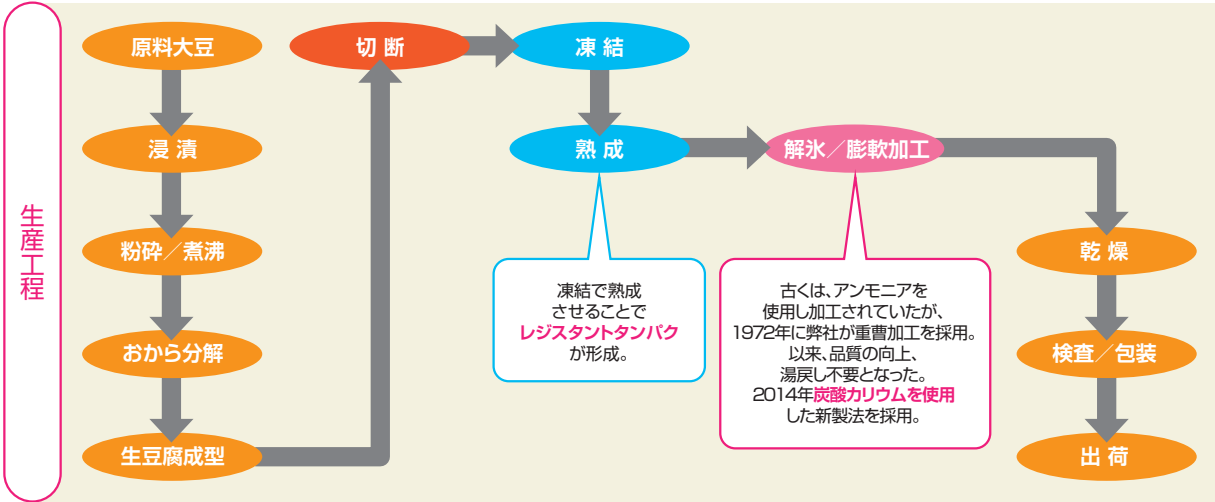
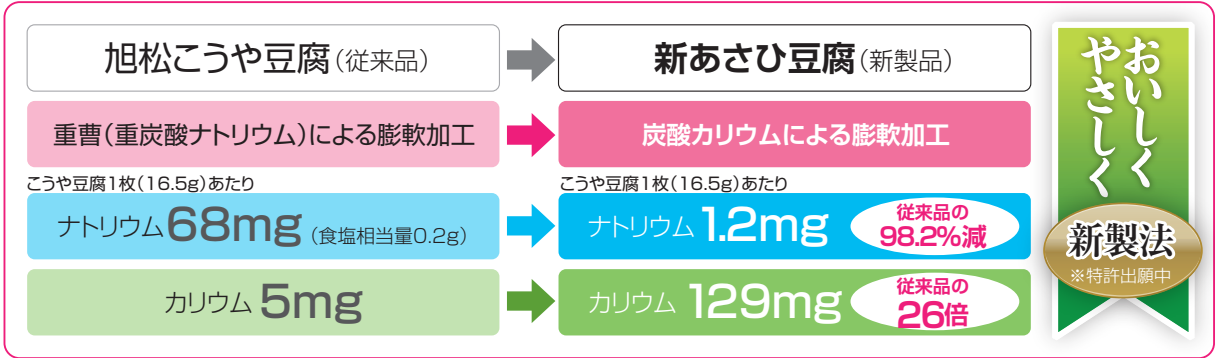
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

旭松食品のこうや豆腐は、生まれ変わります！

「おいしくやさしく新製法」

こうや豆腐をふっくらとさせる膨軟加工の新しい技術。
この製法により、現代の食生活で摂り過ぎがちな**ナトリウムを大幅カット**することができるだけでなく、
正常な血圧を保つのに必要な**カリウムも摂取**することができ、健康的な食生活をサポートします。



新製法の「新あさひ豆腐」は、健康とおいしさがキーワード

「低ナトリウム」で食塩相当量がほぼゼロ！

新製法のこうや豆腐は、重曹を炭酸カリウムに替えることで“食塩相当量ほぼゼロ(0.003g)”を実現。減塩生活をサポートします。

「高カリウム」で体内の余分な塩分の排出を手助け！

カリウムは体内の余分な塩分の排出を手助けします。新製法のこうや豆腐は従来品よりカリウムを多く含み、健康を気にする方にもおすすめです。

「レジスタントタンパク」が血中コレステロールを抑制！

こうや豆腐に含まれる「レジスタントタンパク」には、血中のコレステロールを調整する作用があり、生活習慣病予防の観点から注目を集めています。

こうや豆腐は健康維持を支える「スーパー食材」！

こうや豆腐の半分は、良質な植物性たんぱく質でできています。加えて、不足しがちな鉄分やカルシウム、レジスタントタンパクもたっぷり含まれているスーパー食材です。

ふっくらおいしい！

新製法でも湯戻しなしで、簡単に調理できふっくらやわらかい食感を楽しむことができます。

※レジスタントタンパクとは？

たんぱく質を消化酵素で分解しても分解しきれないたんぱく質で、食物繊維に似た性質を持っています。こうや豆腐の栄養成分の中で約半分をたんぱく質が占めますが、その3割程度がレジスタントタンパクです。



商品情報

新製法を使った商品



新あさひ豆腐10個入



新あさひ豆腐5個入



新あさひ豆腐5個ポリ



新あさひ豆腐6個ポリ
*地域限定



小さなこうや減塩



新あさひ豆腐1/6サイズ



旭松小さなこうや寿
*季節限定

旭松食品のこうや豆腐は、来年の春までに全ての製品をカリウムを使った新製法に切り替えの予定です。

会社の概要 (平成26年9月30日現在)

商号	旭松食品株式会社 ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
本店	長野県飯田市駄科1008番地
本社	大阪市淀川区田川三丁目7番3号
設立	昭和25年12月19日
資本金	1,617,844,105円
関連会社	旭松フレッシュシステム株式会社 青島旭松康大食品有限公司 青島旭松康大進出口有限公司 新鮮納豆株式会社（連結対象外）
従業員数	グループ人員：375名 当社人員：259名
主な事業内容	大豆加工製品の製造及び販売
主要製品	家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、 即席みそ汁・スープ類、 介護食等
主要な拠点	
本店	長野県飯田市駄科1008番地
本社	大阪市淀川区田川三丁目7番3号
支店	東京支店（東京都中央区） 大阪支店（大阪市淀川区）
営業所	北日本営業所（宮城県） 中日本営業所（愛知県） 中四国営業所（岡山県） 福岡営業所（福岡県）
工場	天竜第一工場・天竜第二工場・ 飯田工場・伊那工場 （以上 長野県）
研究所	食品研究所（長野県）
ホームページアドレス	http://www.asahimatsu.co.jp/

取締役及び監査役 (平成26年9月30日現在)

代表取締役社長 兼 営業本部長	木下博隆
取締役	湯沢浩人
取締役 経営戦略本部長 兼 経営企画部長	蒲田充浩
取締役 研究所長 兼 品質保証部長	村沢久司
常勤監査役	佐々木寛雄
監査役	伊坪眞
監査役	田中健一郎